

環境配慮の観点を重視した就職活動ための
学習プログラムと意思決定支援ツールの開発
Development of Learning Program and Decision-making Support Tool
to Emphasize Environmental Considerations
in Students' Job-Hunting Activities

福井 智紀*, 浮島 俊平**

FUKUI Tomonori*, UKISHIMA Shunpei**

*麻布大学, **元・麻布大学

[要約] 大学生の就職活動において、企業の環境配慮の取り組みに着目する意義を解説し、その具体的な方法を身に付けてもらうことをねらって、学習プログラムを開発した。この時、企業の環境配慮への取り組みをチェックし、就職活動における意思決定を支援するためのツールとして、Excel ベースのシートを作成し、CATSEE (キャッチー: Corporate Analysis Tool Sheet for Environmental Effort) と命名した。これは、①基本情報入力シート、②チェックシート、③企業別評価表、という3つのシートで構成される。大学生3年生を対象として、開発したプログラム・ツールをオンラインで試行した結果、一定の活用効果や可能性は示されたが、効果や実用性を高めるには改善が必要であることも把握された。特に、民間の大企業だけでない、多様な分野・職種に対応することが課題である。

[キーワード] 就職活動, 意志決定, 環境配慮企業, SDGs, ESG

1. はじめに

近年の企業に対する評価では、単純な業績だけではなく、SDGs や ESG (Environment, Social, Governance) などの観点も注目されるようになってきた。一方で、学生にとって就職する企業・業界を選択することは、社会人として最初の大きな自己投資だと言える。就職活動で何を重視するかは様々であるが、少なくとも環境に配慮した生き方をしたいという願う学生に対しては、そのような希望に叶う企業・業界選択を手助けすることが、学校教育と社会人とをつなぐ位置にある高等教育の役割として、必要であると思われる。

一般に、長期的な視野に立って SDGs や ESG に取り組む企業・業界は、今後の投資や成長が見込まれるため、結果として学生自身の安定した生活基盤の構築につながる可能性もある。逆に、そうした視野を軽視し、環境に対する悪影響をもたらしかねない姿勢を取るとは、経営リスクを高める恐れすらある。さ

らに、環境教育・ESD や SDGs という大局的観点からは、どのような企業や業界が選好される(されない)のかは、持続可能な社会の実現に大きく影響する可能性がある要因となる。

このように、就職活動において環境に配慮する視点を導入・強調することの意義は大きく、環境教育や SDGs の観点からも重要となる。2021 年に実施された調査によると、SDGs の認知率は学生の方が社会人よりも高く、SDGs に関する取り組みを就職活動において意識すると回答した学生が6割に迫るといふ。さらに、7割以上の学生が就職活動において企業が SDGs に取り組んでいることを知ると「志望度が上がる」と回答した⁽¹⁾。

しかし、以上のような観点からの就職活動の支援は、これまで十分ではなかったと思われる。大学で実施される就職支援のセミナー等は、一般的には、企業分析や就活スキル育成に焦点が当てられているので、明確に環境に配慮したキャリアを築こうと意識している

学生でない限りは、就職活動において以上のような観点や支援は希薄であったと言える。

そこで、学生を対象とし、就職活動において環境配慮の取り組みに着目する意義を解説し、具体的な方法を身に付けてもらうことをねらい、学習プログラム・企業分析ツールを開発した。就職活動に環境配慮やSDGsの視点を導入していくための、試験的な取り組みである。なお、本研究は、日本環境教育学会第33回年次大会において、口頭発表を行った。

2. 方法

以下の手順で、本研究を進めた⁽³⁾。

まず、環境配慮企業やESG経営の事例等を、文献調査により収集して整理した。なお、持続可能な社会の実現を念頭に、環境(Environment)・社会(Social)・ガバナンス(Governance)の3点を重視した観点を、ESGと称することが増えており、ESG経営やESG投資などのように用いられる⁽²⁾。次に、プログラムの内容を検討し、Excelを用いた企業分析ツールを作成した。また、このツールを活用することや、企業の環境配慮の取り組みに着目する意義を解説する、学習プログラムを開発した。これらの開発したプログラムと分析ツールを活用し、大学3年生を被験者としてオンラインで試行授業を行った。この時、試行終了後にGoogleフォームを用いてアンケート調査を実施した。これらから、プログラム・ツールの効果及び改善点を検証した。

3. 企業分析用チェックシート

企業の環境配慮への取り組みをチェックして、就職活動における意志決定を支援するためのツールとして、Excelベースのシートを作成した。呼びやすさを考慮して、やや大袈裟ではあるが、あえてCATSEE(キャッチー: Corporate Analysis Tool Sheet for Environmental Effort)と命名することにした。語感として、人の心をとらえるという意

味のcatchyと、人気のある動物・ネコのcatsとを連想させる意図もある。

Excelファイルのなかには、①基本情報入力シート(図1)、②チェックシート(図2)、③企業別評価表(図3)、という3つのシートで構成されている。

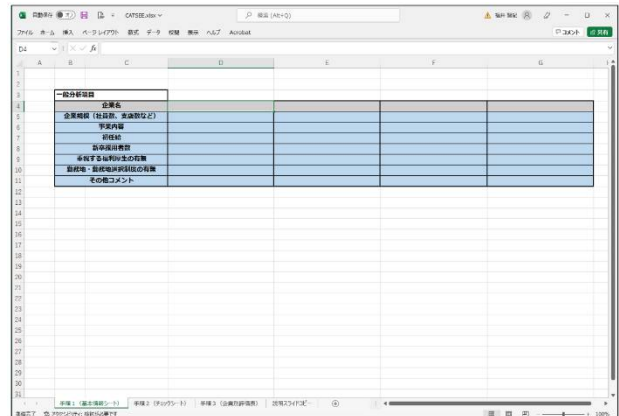


図1. 基本情報入力シート

①の基本情報入力シートでは、利用者が興味を持っている企業に対して、一般的な就職活動で行う場合と同様の情報として、企業名に加えて、規模・事業内容・初任給・待遇等の7項目を入力してもらう。



図2. チェックシート

※掲載にあたり企業・商標・具体例等を伏せている。

②のチェックシートでは、環境、社会、経済(一般的な「ガバナンス」ではなくこちらの語を用いた)という大項目に、SDGsの17目標を便宜的に振り分け、それぞれ5項目(水と衛生、エネルギー、気候変動、海洋資源、

陸上資源), 8 項目 (貧困, 飢餓, 健康と福祉, 教育, ジェンダー, 平等, 持続可能な都市, 平和), 3 項目 (持続可能な経済, インフラ・産業, 消費と生産), を設定した。なお, 目標⑰のパートナーシップは設定しなかった。これらの 16 項目のなかに, SDGs の 169 ターゲットと GRI スタンドアードを考慮して各 2 項目ずつの小項目を設定した。なお, GRI スタンドアードとは, Global Reporting Initiative が提示している「組織が経済, 環境, 社会に与えるさまざまなインパクトについて一般の人々に情報提供する際の, 国際的なベストプラクティスを反映している規準」である⁽⁴⁾。

例えば, 大項目「環境」の中項目「⑬気候変動」の小項目 2 つのうち的一方では, ターゲット 13.3 の気候変動の緩和等に関連した取り組みを評価させる。参考として, ある企業による省エネエアコン・低温暖化冷媒を用いたエアコンの世界的普及という事例を記している。この項目の上部には, ①で入力した企業名が自動で表示されるので, ここに S~E で評価を行い記入する。S: 10 点から E: 0 点まで 2 点刻みで自動集計され, 次の③のシートの表示において使用される。なお, 評価の基準は以下としてシート内に示している。

- S: 取り組みが広く知られており, 評価されている。
 - A: 取り組みの記載があり, かつ結果が出ていると判断できる。
 - B: 取り組みについての記載があり, 今後の結果が期待できる。
 - C: 記載はないが, ある程度の期待はできそうである。
 - D: 取り組みについての記載がなく, 期待もできない。
 - E: 項目に関してマイナスとなる活動をしているか, 報道されている。
- ※取り組みには「実際の活動」「資金の投入」

「人材の派遣」など多様な活動等を含めてよいです。

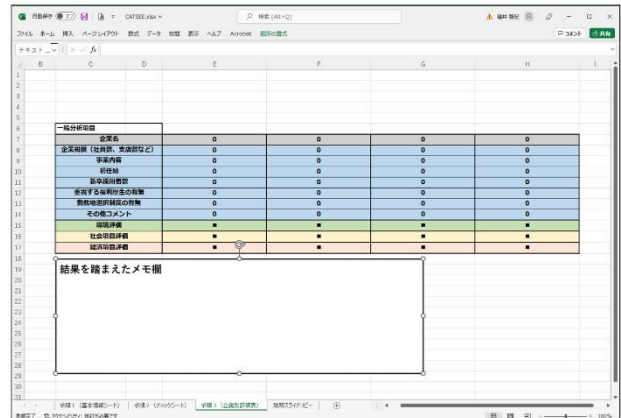


図 3. 企業別評価票

③の企業別評価表では, ①と②に入力した内容が自動で反映され, 一度に 4 社まで, 検討した企業を簡単に比較できる。②における S~E の評価を得点化し, 大項目の「環境」「社会」「経済」別に, 平均値 (AVE) によって判定されたマークが自動で表示される。なお, 設定値は, 花マーク: AVE>8, ◎: AVE>6, ○: AVE>4, △: AVE>2, ■: その他, とした。

このように, 企業別評価票では, ここまでの記入内容や自身の企業評価が要約される。全体的な評価や総括を行い, 結果を踏まえたメモを記入できる欄も設けた。

なお, 4 番目のシートとして, 作業手順を示したスライドを縮小して表示し, 自身でも作業手順を確認できるようにしてある。

4. 学習プログラム

環境配慮企業に着目する意義を解説したうえで, CATSEE を活用してもらうために, PowerPoint のスライド形式で学習プログラムを作成した。作業手順の部分 4 枚は, 前述したように, CATSEE 内の 4 番目のシートにも表示した。作成した学習プログラムのためのスライドを, 図 4 に縮小して示す。就職活動において ESG を重視する環境配慮企業を念頭におく必要性やメリットを簡潔に説明したうえで,

そのためのひとつの方法として、CATSEE の具体的な活用手順を紹介している。



図 4. 学習プログラムのスライドの全体像

※参考引用文献を示す紙幅がないため解像度を落として
いる。イラスト部分には念のためマスクをかけた。

5. 試行授業の実施

2021年12月に、大学3年生14名を対象として、オンラインでの試行授業を実施した。試行後に任意のアンケートをGoogleフォームで実施したところ、授業者（第二著者）と研究室が同じ者を除く全員から回答を得た。以下では、おもな結果を紹介し、考察したい。

まず、図5では、全体的な感想については、「ためになった」の選択率が高いものの、「つまらなかった」「難しかった」も多い。今回はコロナ禍でのオンライン授業だったという背景もあるが、動機付けや分かりやすさの点で、

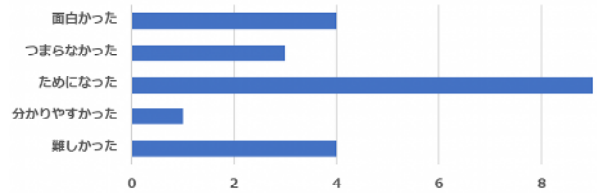


図 5. 試行後の感想

今回のプログラムについて、当てはまるものをすべて選択してください。(N=13)

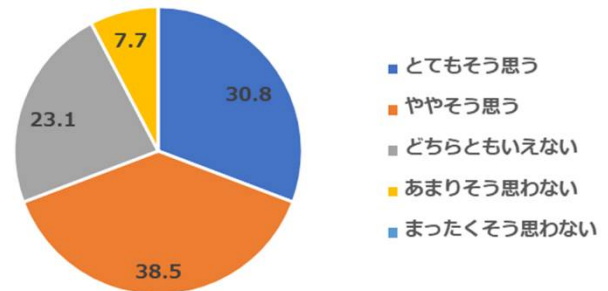


図 6. 環境配慮を評価する視点の喚起

今回のプログラム・環境配慮チェックシート（CATSEE）は、高等教育（大学や専門学校など）での就職活動の時期に、環境配慮企業を評価するという視点をもつことの意義や有用性を理解してもらうために、効果的なものだと思いますか？（N=13）

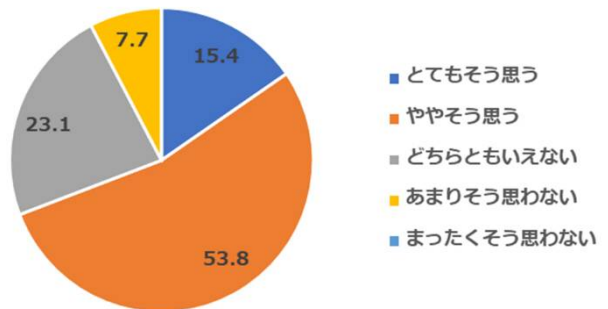


図 7. 評価の方法・技能習得への効果

今回のプログラム・環境配慮チェックシート（CATSEE）は、高等教育（大学や専門学校など）での就職活動の時期に、環境配慮企業を見極める方法や技能を身につけてもらうために、効果的なものだと思いますか？（N=13）

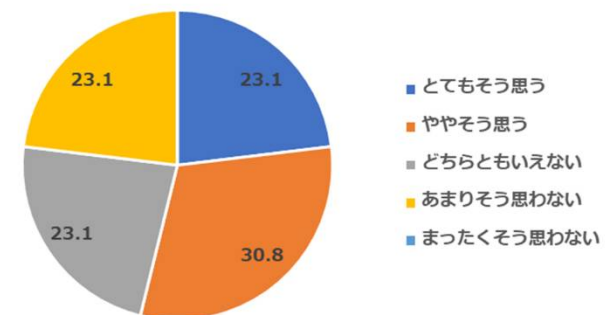


図 8. 自己の分析や考えの整理への効果

今回のプログラム・環境配慮チェックシート（CATSEE）は、高等教育（大学や専門学校など）での就職活動の時期に、就職活動で何を重視したいのかを整理したり自己分析したりするために、効果的だと思いますか？（N=13）

改良すべき部分が大きいことが示されたと考ええる。

次に、図6では、就職活動において環境配慮企業を評価する意義・有用性を理解するため効果的かについて、概ね肯定的な評価である。次の図7では、環境配慮企業を見極める方法や技能を身に着けるため効果的かについても、概ね肯定的な評価である。図8では、就職活動で何を重視したいのかを整理したり自己分析したりするために効果的かについて、図6・7ほどではないものの、ある程度の肯定的な評価である。ただ、否定的な評価も2割を超えている。図9でも同様に、実際の就職活動での有用性について、肯定的な評価が半数以上である反面、やはり2割以上の者が否定的な評価である。従って、就職活動における観点整理や自己分析における効果や、就職活動での有用性については、肯定的に感じられなかった者が一定程度いたことになる。

全体的には、今回のような就職活動支援は、学生はあまり経験したことがないと予想されるので、これらの結果により、従来型の就職活動支援とは違った機会として、開発のねらいは十分に達成されたとみてよいだろう。これに関して、図10に、今回の取り組みによる効果・影響を自己評価してもらった結果を示す。これを見ると、今回のプログラムを経験したことによって、環境配慮の視点を就職活動に取り入れようと思った者が半数以上いることが分かる。しかし、特に響かなかった学生が、やはり2割を超えている。持続可能な社会をめざすうえでは、一人でも多くの学生が、環境に配慮する観点をもってキャリア形成をしていって欲しいと思う。その点では、まだ改善点が多くある。特に、学生の就職活動は多様であるにもかかわらず、今回はウェブサイトなどで環境配慮に関するPRや情報公開を進めている比較的大きな企業でないと、十分にツールを活用することが難しい内容であった。従って特に、多様な分野・職種に対

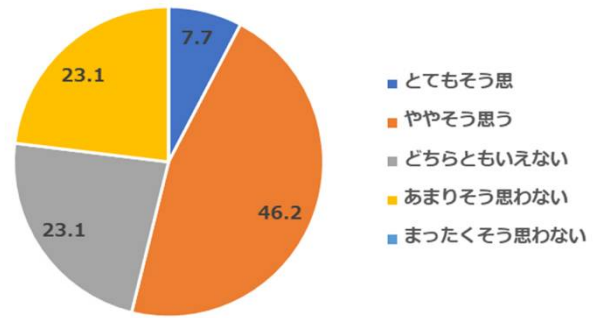


図9. 実際の就職活動での実用性

今回使用した環境配慮チェックシート (CATSEE) は、実際の就職活動でも使用できると思いますか？ (N=13)

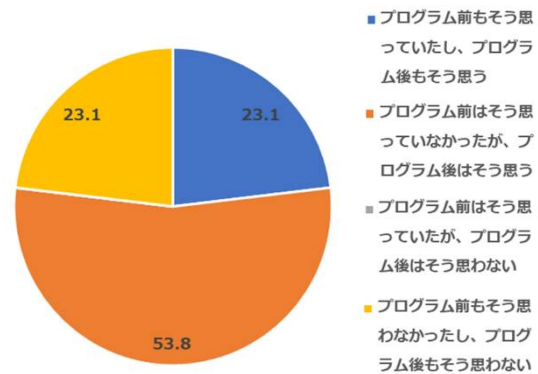


図10. 今回の取り組みの効果

あなたは、環境配慮の視点を、就職活動のなかでの企業選択や判断材料のひとつとして、取り入れようと思いますか？ (N=13)

応することが、残された課題だと考える。

最後に、今回のプログラム・ツールに対する「よい点」と「改善点」とを、それぞれ自由記述で記入してもらった結果の一部を紹介したい。

【質問】 今回のプログラム・環境配慮チェックシート (CATSEE) について、よかった点やこのままでよい点を、できるだけ詳しく教えてください。

【回答例】

- ・SDGs等の取り組みを複数の企業で比較分析できる点が優れていると感じた。
- ・今後、企業が意識すべき環境への配慮や取り組みについて知る機会になった。
- ・項目内に企業の取り組み例など書いてあり、わかりやすかった。

【質問】 今回のプログラム・環境配慮チェックシート (CATSEE) について、悪かった点や改善した方がよい点を、できるだけ詳しく教えてください。

【回答例】

- ・時間がかかる点や、就活を考えている生徒しか意欲的に行うことができない点。
- ・環境配慮チェックシートを一人で評価することが少し大変なように感じた。
- ・教員を選択した場合にその学校で検索しても出てこない場合はどうすれば良かったのかわからなかった。

これまでに紹介したアンケート結果の考察と同様に、一般的な就職活動にはあまりない環境配慮の観点を導入したことを、有意義な機会として捉えてもらえたことが窺える。しかし一方では、ツール活用の大変さや不十分さが明確に指摘されている。

6. おわりに

本研究では、企業の環境配慮への取り組みをチェックし、就職活動における意思決定を支援するためのツールとして、CATSEE (キャッチー) を作成した。さらに、このような就職活動の意義やツール活用の解説を含む学習プログラムも作成した。オンラインでの試行結果から、一定の活用効果や可能性は示されたものの、改善が必要であることも把握された。今回の取り組みを一事例としつつ、就職活動においてSDGsや環境配慮を明確に意識させるための具体的な支援を、さらに広めていくことが必要であると考えます。

謝辞

試行にご協力いただいた方々に、深く感謝申し上げます。本研究は、JSPS 科研費 JP20K03214 の助成を受けた。

注

- (1) 学情, あさがくナビ, 2021年8月6日発表資料, <https://ferret-one.akamaizd.net/files/610b54f3ad7b89319ef350ef/210806-navienq.pdf?utime=1628132595> (2024年1月10日最終確認)
- (2) 野村総合研究所 (NRI), ESG (環境・社会・ガバナンス), <https://www.nri.com/jp/knowledge/glossary/1st/alphabet/esg> (2024年1月10日最終確認)
- (3) 研究の着想, 教材作成, 取りまとめ等の各過程において参照した文献は、紙幅の都合上そのすべてを示すことができないが、特に、渋澤 (2020), 関 (2019), 勝田 (2018), 日本経済新聞社 (2019), 及び、以下のウェブサイトをあげておく。
学情, 2021年8月6日発表資料 (PR TIMES 内に掲載), <https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000747.000013485.html> (2024年1月10日最終確認)
環境省, アンケート結果概要, https://www.env.go.jp/press/パネルディスカッション第二部_事務局資料.pdf (2024年1月10日最終確認)
GRI (Global Reporting Initiative), GRI Standards Japanese Translations (GRI スタANDARD日本語版), <https://www.globalreporting.org/how-to-use-the-gri-standards/gri-standards-japanese-translations/> (2024年1月10日最終確認)
- (4) (3) に示した GRI のウェブサイトより。

引用文献

- 日本経済新聞出版社 (2019) 『SDGs, ESG 社会を良くする投資』日本経済新聞出版社。
渋澤健 (2020) 『SDGs 投資』朝日新聞出版。
関正雄 (2019) 『SDGs 経営の時代に求められるCSR とは何か』第一法規。
勝田悟 (2018) 『ESG の視点』中央経済社。